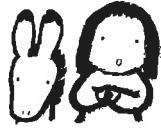


けいせん



2012.2.29

早いもので明日から3月。今年度も残りわずかとなりました。1年間一緒に過ごしたお友だち、先生との日々をふり返りつつ、進学・進級に期待をもって過ごす毎日です。

年長組は、2月には世界に向けて木製の取り組みをしました。世界にはたくさんの国があつてそれぞれの暮らしがあること、その一人ひとりを神様が守っていてくださることなどを考えながら過ごしました。以前、年長組の子どもたちに“平和ってどんなこと？”とたずねると、“けんかしないこと”“戦争しないこと”“つかはすこと”…という声がありました。そして、話を進めていくうちに、「当たり前のことに気づいて感謝することも大切と学びました。毎日、当たり前に起き、服を着て、ごはんを食べて。家があるのも幼稚園に行くのも当たり前。でもそれが、当たり前ではない人が世界には、日本にも、たくさんいることを知った時、私たちは何ができるだろう、と言話し合っていました。

そして、昨年の3月11日以降、私たちは改めて、大切なことは毎日の生活の中にこそあるということを感じながら、感謝・絆・命…ということを心にもって一日一日を送っています。

私たちは、子どもたちにできることは小さなことかもしれません。でも、一人ひとりが与えられている恵みに気づいて感謝をもつて過ごす、当たりの人には挨拶をする、困っている人がいたら声をかける…こんな小さなことでもみんなでできれば、それは平和をつくり出すことになると思うのです。友だちとの平和、家庭の平和、まわりの人との平和、そして世界の平和。ちょっと考えてみませんか？

今も悲しみの中にある方、困難な生活を強いられている方、不安な毎日を過ごしてある方のことを見ています。お一人おひとりの上に神様のお守りとお導きがありますようにお祈り致します。

♪キリストの平和がわたしてちのこころのすみすみにまでゆきわたりますように
(ニビもさんばか改訂版 34番)